

りそな外為レポート

りそな WEEKLY COLUMN

りそな外為レポート

ハーフタイムショー2021 (P2)

りそな銀行 市場トレーディング室
カスタマーディーラー 伊藤 一輝

今週のドル円予想レンジ **109.60 ~ 111.25**

りそなWEEKLY COLUMN

中国・上海市におけるワクチン接種について (P3)

りそな銀行 市場トレーディング室
カスタマーディーラー 范 哲遠

- 上海市では成人のワクチン接種率は77%
- 接種完了者に現金給付？コミュニティ別の取組み
- 日本での接種率向上の参考に

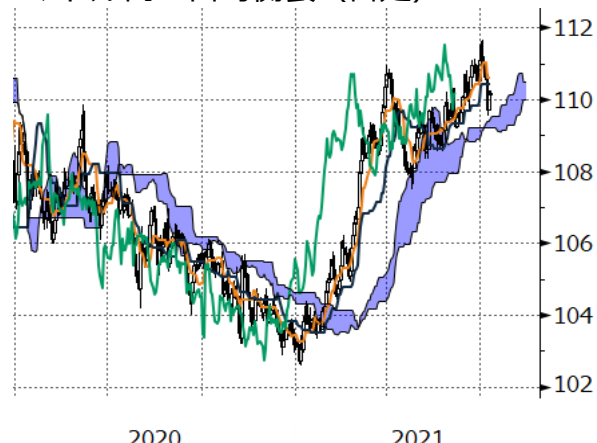
2021/7/12

りそな外為レポート ハーフタイムショー2021

今週のドル円予想レンジ **109.60 ~ 111.25**

(りそな銀行市場トレーディング室予想 発行当日の10時時点)

◆ドル円一目均衡表（日足）



◆為替相場のすすめ

先週のドル円は米金利の動向に振り回される展開となった。2日(金)発表の雇用統計は概ね良好な結果だったものの、FOMC直後から続いた利上げ織込の過熱感が意識され、米金利低下・円高方向の動き。8日(木)のNY時間に長期金利が1.25%付近へ低下したことを受け、ドル円は一時109円50銭台をつけた。2021年の半分が終わり、いったん調整が入ったように思われる。

新型コロナウイルスのデルタ株・ラムダ株の流行がグローバルに懸念されているが、足元の注目は引き続き米国の金融政策・財政政策だろう。米国時間14日(水)にFRBパウエル議長の下院議会証言が行われるが、今月27~28日のFOMCを前に、市場に新たなメッセージを発することがあれば、このタイミングか。

米上院議会は独立記念日の週の休みが明け、いよいよインフラ投資法案の協議が本格化するという。財源次第になりそうだが、今月中に上院で両党が妥結に至れば、ドル円は年初来高値である111円66銭付近を再度トライする展開を想定する。

(カスタマーディーラー 伊藤 一輝)

◆今週の日程

12日(月)	日	5月機械受注
13日(火)	米	6月CPI
14日(水)	米	6月PPI
14日(水)	米	地区連銀経済報告
15日(木)	中	21/2QGDP

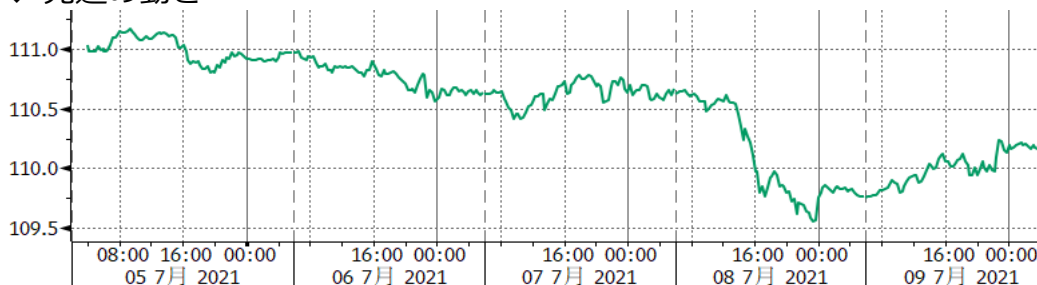
15日(木)	米	7月フィラデルフィア連銀製造業指数
15日(木)	米	6月鉱工業生産
16日(金)	日	日銀金融政策決定会合
16日(金)	米	6月小売売上高
16日(金)	米	7月ミシガン大消費者信頼感指数

◆今週の予想 (ドル高強い ↑ 普通 ↑ ドル安強い ↓ 普通 ↓)

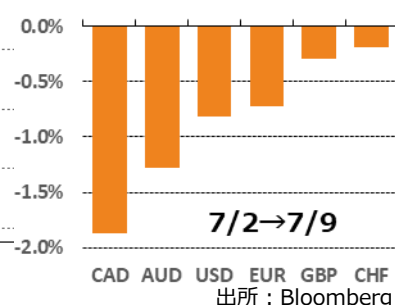
NY引け値 7月9日(金) 111.09円 VS 7月16日(金)

東京					大阪(りそな)					埼玉				大阪(関西みらい)				神戸															
井口	小林伸	石川	田中	中里	范	伊藤	村永	岩田	小林翔	上野	曾根	鈴木	武富	湊真	中太	石井	中根	津田	佐藤	中山	内田	荻窪	藤森	三好	石田	尾股	中野	荻谷	辻村	山木	下川		
↑	↑	↓	↓	↑	↑	↑	↑	↑	↑	休	↑	↓	↓	↑	↓	↓	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↓	↑	↑	↑	↓	↑	↑	↑	↑	休	↑

◆先週の動き



主要通貨対円パフォーマンス



◎注意事項
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

2021/7/12

りそな WEEKLY COLUMN

中国・上海市におけるワクチン接種について

- 上海市では成人のワクチン接種率は77%
- 接種完了者に現金給付？コミュニティ別の取組み
- 日本での接種率向上の参考に

りそな銀行 市場トレーディング室
カスタマーディーラー 范 哲遠

上海の ワクチン接種率

世界各国で接種が進む新型コロナワクチンですが、本稿では筆者の本国である中国・上海にフォーカスを当てて、ワクチン接種の進捗、状況について報告させていただきます。

まず、初めに接種率ですが、上海市の発表によると6月29日時点で接種が完了した人数は1683万人に達し、18歳以上の接種率は77%、累計接種回数は3527万回となっています。集団免疫が獲得できるといわれている7割以上の接種は完了している状況です。

日本でも接種が進んでいますが、東京都の2回接種完了した割合は9.6%（6月29日時点）とまだまだこれからです。上海市の施策が日本での接種率を上げる参考になればと思い取組事例を以下に記載します。

接種率向上の工夫

接種率を上げるために上海市内の各社区（コミュニティ）はいくつかの工夫をしています。

一つ目は臨時接種会場の設置です。病院や保健所以外では高速鉄道駅、公園、空港等に臨時会場を設けて、アクセスを良くする点と特定の会場に接種希望者が集中するのを回避する点が狙いです。日本での大規模接種会場とは対照的ですが、ワクチンの保管や接種可能な人員（医療従事者）の確保から、日本ではなかなか難しい模様です。



2021/7/12

りそな WEEKLY COLUMN

二つ目はワクチン接種に対してインセンティブを付与しています。ワクチン接種対象者に日用品や食料品を贈呈したり、場所によっては300元（約5,100円相当）の現金給付を行ったり、AKB48の姉妹グループであるSNH48がワクチン接種のキャンペーンマスコットとなり、接種会場にて接種完了者にスタンプを押すイベントを開催したりとより多くの市民に接種してもらえるよう様々な工夫をしています。日本でも献血会場等で見られる方法です。

三つ目はワクチン接種状況管理にITを活用している点です。スマートフォンのアプリを利用した予約・接種状況管理を行っており、予約アプリを使い希望会場を選択し、個人情報を入力すれば、数分で予約が完了します。接種会場では予約した情報を呼び出し、本人確認を実施。重要事項の説明後、接種といった流れになります。更に上海ではコロナ対策として、ショッピングモール等の商業施設や政府機関の公共施設に入場する際も「健康クラウド」というアプリを活用し、入場記録の管理を行っています。一部の病院や政府機関ではアプリ上の登録で濃厚接触者の疑いがあると施設に入場出来ない等の不利益を被るケースがあるようです。

上海市内の市中感染はほぼ無く、感染源のほとんどは海外入国者からとなっています。上海の人たちの中でも、コロナ感染リスクよりもワクチンの副作用を恐れ、接種に対してネガティブな人が多いです。ただ、今後ワクチンを接種していないことで日常生活に支障がでるのではないかと、いざワクチンを接種したいと思っても手に入らなくなるのではないかとといった不安心理からやむを得ず接種を進める人が大半かもしれません。

濃厚接触者の疑いがある対象者に対する公共施設への入場制限をスマホのアプリ等を活用して強制的に実施することは、個人情報やプライバシー保護を重視する日本での導入は、ハードルが高いかもしれません。しかし、日本でもワクチン接種率の向上が今後のテーマになる中で、上海の事例は参考になるのではないかと思います。



ワクチン接種の本音

日本への参考に